

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学 期	4	ふしぎな出来事をとらえて読み、考えたことを話そう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている
			【思判】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。
			【主体】進んで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを伝え合おうとしている。
	5	大事なことを落とさずに聞こう	【知技】相手を見て話したり聞いたりしている。 必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、自分の考えをまとめていくことを意識している。
		筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう	【知技】接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判】「読むこと」において段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。
			【主体】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
	6	気持ちが伝わる手紙を書こう	【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。
			【思判】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
			【主体】進んで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている。
		場面をくらべて読み、心にのこったことを伝え合おう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
			【思判】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。
		見せ方を工夫して書こう	【知技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。
			【思判】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
	7		【主体】進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。
2 学 期	9	パンフレットを読もう	【知技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
			【思判】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。
			【主体】積極的に目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。
	10	ローマ字を使いこなそう	【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。
			【思判】積極的にローマ字の表記を考え、これまでの学習をいかして、ローマ字を書こうとしている。
		気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう	【知技】言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
			【思判】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。
			【主体】進んで文章を読んで理解したことに基いて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。
		役わりをいしきしながら話し合おう	【知技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
			【主体】積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。
	11	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう	【知技】事典の使い方を理解し使っている。
			【思判】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。
	12	つながりを見つけながら読み、おもしろいと思ったことを話し合おう	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
			【思判】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。
			【主体】積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったことを伝え合おうとしている。
		理由や例を挙げて、考えを書こう	【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
			【主体】積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。
1		自分だけの詩集を作ろう	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
			【思判】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
			【主体】進んで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。

3 学 期	-	きょうみをもったことを 中心にしようかいしよう	【知技】様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
			【主体】進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書こうとしている。
	1	言葉を選んで詩を書き、 友達と読み合おう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。
			【思判】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見
			【主体】進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。
	2	調べて分かったことを話 そう	【知技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う ために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。
			【主体】進んで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしよ うとしている。
	3	読んで考えたことを、友 達と伝え合おう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。
			【思判】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
			【主体】進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見直しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。